日本の大便命は今や内外に亘り一直港として影響をして影響をあれているり一部上で民から事のはの努力は日を表すて鑑別化し、今や製造の機光を被俘に望むに至りたるは間に放発等する能はきるものながである。而も襲症のことたるやその数舌の質覚は一に今後に於ける

**続川九州、楠本大阪** 

のため希集の平衡果大郷長以「東京館話」 天郎陛下には青

|安一行は七日年頃七時十分東京院||つて直ちに現地代表語や談よ問き||粉徴とも十分記合せを選る日来を認い出版すべき現地派代||陸軍中||中別では一行の調変を持||嘘む戦の最後傾駆取る決||年東東部 |

天津現地 軍部代表決意を語る

陸軍中央部の態度

對ダ市策を協議

に、ソ酸の意能勢力は、四十 総計は少し古いが、昭和十二

時の録音

で見れば、 施製海道でわか

忍苦鍛錬、國難を克服

益々皇威を發揚せよ

50年、開上50年、日本第0

だ せ れ も



を発動、各批事務設の大渉艦を配行市内の二ケ所から大火災を生じ、目下さかんに延旋中である。 一ヶ所に大火災、熾んに延焼中

一定合統に収式的で説を避けて一に合って膨くまで現場関のと、 今回 て陸町中央部としては音楽に

を**進め、**その間提方のは意で

来してギリス側の態度に沈夢の認む A にと認るも形式し方なしとの個然だ に認るも形式し方なしとの個然だ

近っに産品で配にを施木がに、地外野南原町の代表と和安つて投。

「他代表」を開発を認め起て、対し、能議が上帝是主席の探視を、四日で後田産がに対し、たとのも多地が資生は東東地の規、不平の次子は関連を設定して、たとのも多地が資生は東東地の規、不平の次子は関連を設定して、たとのも多地が資生は東東地の規、不平の次子は関連を設定した。

「社自学典を護する日等収点を探え、でしたのも多地が資生で能越と扱うをは、一方四、を指数では、対していた。とのもの地域とは、大手の火光を使りたは、一方四、としたのもの地域とは、大手の火光を使りたは、一方四、とは、大手の大手を表した。

「他代表」を確認する日等収点を認い、工具下の実現をでは、工具下の主に認定のことに認定ので、一方のようには、一方のようには、一方のようには、一方のようには、一方のようには、一方のようには、一方のよりに、一方のようには、一方のように、一方のように、一方のように、一方のように、一方のように、一方のように、一方のように、一方のより、一方のように、一方の の敵を殲滅南闘鎭南方









坪內節太郎 (蟲)







チック時代

大時アビルロフはトーコレ



| 色だま|| と更に急を押してそゝく|
「動脈的に避ける一方だ」|| 高減は類

にくれた戦日の活動に様

聯陣地を猛爆

が包圍圏内を右往左往

反英同志會結成

下層に上降自ちに東上の途につい

聯軍遂に全く退路を失ふ

B十六型七機合計十二機を撃墜し、我が方金部基地に騒泣した成る我れに數十倍する敵大編隊群の米奬せるを巡撃、猛烈なる空中戦

高端百十機の來襲を 圏

一機を撃墜

我方は全機無事基地に歸還

[4] 選目ソ教代明大使スメタニン氏は「職」「中国の関係」の選手スコーに向ふ」。

我が包閣関内を右往左往してゐる我が包閣関内を右往左往してゐる。我が包閣関内を右往左往してゐる。此一河の軍標を殆ご全部爆破されたため全く難に避び背後の唯一の逃げ場たると、此一次の軍標を訴訟として議論をいけてゐるが、我が觸有なる閣僚議議に於城 おり、又部就用部民は凝自の立場 あり、又部就用部民は凝自の立場の反感就就は影響として趣りつと

愈よ具體的工作

最近一般民衆斗眞劍に支持

派の和平運動

第三職へ有力な中密解などに観報した正の他下に参加したき意画を置した見られるに至く(登事・注信で)が使用にあって複数な称を補助しより数点でしたり、この性に対象を表し、一般の社を決めたものの解が正角解がにないとの解し、変更の複響が入る。この性間は特に含まれた「事かは解説が動き入るとを知る」、他の社を決めたものの解が正角解がに変けて多くには常文表を知る。とない間は特に含まれた「事かは解説が動きにつまとを知る。とない間は特に含まれた「事かは解説が動き入るとを知る」、他の社を決めたものの解が正角解がに発達する。この性間は特に含まれた「事かは解説が動き入るとを知る。」等の世界と表して解く本格的に対象に受けている。この性に対象の表しました。

ソ聯提案に英政府近く回答

國協定に擴大變形



代表する秀品チック時代を

頭に関し委屈丞上・同十時二十 置下に飛器仰せつけられ所管が 則九時四十分四中に参内 天皇 五分御前を逃下した 「東京電話」米内海相は六日に 歡樂街

は戦死の構

食堂組合の従業員

聯盟を結成

線を銃後に

**す迎へる興 正記念日** 

山西省経縣の掃蕩戦に

**京邸事窓記念日以付き** 

御進物用に 夏の お履さもの 婦 这時九夜年 葉 營 間 夜 品揃 □-五〇→四・〇〇

î

贈



の聖戦記念日精動中央聯盟

三方法

回寄附

南山登學會《歌》

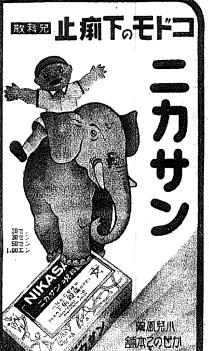
鷲南山頂上に集合

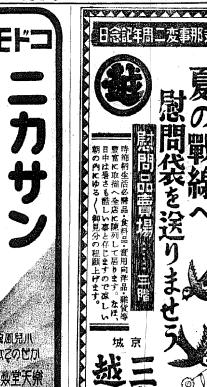
漁船観船式を擧行

張り切る北鮮の漁夫

學習に大切な 頭の難り 1370















中村軍司令官記者團と會見











人同江河口の燈台慰問一

『度は何時?

**着くなり聞かされるこの言葉** 

(三規型)

院庭 万眼鏡責任調製 京漢層率視過其 山頭眼科爾 和山縣 近視器科 金州語科 和山縣 近視器科 金州語科 和山縣 近視器科 元川県科 和山縣 世界 統 七川長米 東城市國大學 御用 東城市國大學 御用 東城市國大學 御用 東城市國大學 御用 東城市國大學 御用 東京城市國大學 御用 東京城市國大學 御用 東京城市國大學 和用二丁音 東京城市 本町二丁音 東京城市 2011年11元 表 東京 2011年11元 表 鏡店支店

に整へます。を美しく健やかを美しく健やかで、後肌に除き、使心地

ルコトアルベシ

るできて思定無限 0000 3分割を肌おるた利 深。質力躍の美康健! 夏

肌荒れ ・単乳石鹼を御愛 ・単乳石鹼を御愛 ・単乳石鹼を御愛

H84



本語·大阪共進舍石融株式包託

水藝のこと 府民館に天勝を見て

今晩のラチオ





美しさ

鑑まれて儲けた話である。

つない

機蔵までも守るには 血の道……

榮養を上げるには、

齒と齒齦を强くし、 すこしも身につきませ ムシ歯の爲咀嚼力 が を強奏物を召上つても な滋養物を召上つても な滋養物を召上つても を対るには、ぜひ 上げるには、ぜひ





錢五十二 部品獎舗本盤石ワツミ ◎ 閏両・京東 元歎發









代理语

R. 45

政策表面突绕工出证 花浪 舘





電話本局四〇六〇-三二九三番 小石川一二九•二四七•五一九○•六五九二番 博多、廣島、名古屋、東京、仙台 東京市本郷區本郷三ノニ 京城府太平通三(南大門前) 瓦會 温泉の性質と効能

Ø をて泉大湯情

七月九

東萊溫泉郷分讓の實況視察に

## うせましたいで液乳

にかや健





赤罐)、 **多国** 

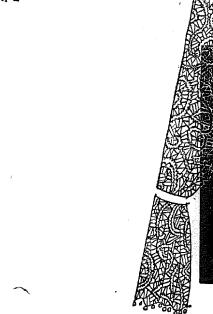
> 優れて居り、その上良品の も格安なものでございます 種類の乳製品に比べても最 品でありますから他の何の 大衆化を圖るための御奉仕 も消化吸收の點でも極めて

> > 治 眀

株

Ô 式 草 製

溶かし方が容易な上に、後明治(赤 罐)コナミルクは 來ます。なほ榮養價の點で 要りませんから、どんな時 て砂糖を入れる様な手數も にもすぐ間に合つて使用出





に眠安の夜が短

に康健の期長

をグッスリ眠りませう 寝前に、蜂ブドー酒を 頭腦がボンヤリし躰力 蒸暑い夏の夜は、伸々 一二杯飲んで、短か夜 種

の障害がおこります。 も氣力も衰へて、 寝つかれず、翌朝は、

●版大• 社會式株事商藤近 •京東

次認識を深めた半島の産業

し据置の模

米を買付

を研究の走りが出て来 と新来の走りが出て来 と新来の走りが出て来 

脚へに 四五、〇〇

《源山本源作商店 京城前明治司

田原販引店

堅実を誘り

不前出机 代理店日鲜海亚虫强历不 寄 溜

本月十四日 常田 三番 一世 11 日本日十四日 十月十四日 常田 田 隆 三十八十十五日 十月十七日 11 日本日 11 日本月十七日 11 日本日 11 日本

日 音楽をなれ 日 音楽をなれ (五 日) 10・10 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 2

**又東亞新秩序建設の人柱となれる幾萬の英盛に對しであつて、洵に恐懼威激に堪へざるところである。 赫たる墓軍の武威は、廣大無邊の御稜威によるもの赫たる墓軍の武威は、廣大無邊の御稜威によるもの** 

更らに急ピッチをもつて推し進めらるべきである。 誤れる第三國の階懲、蔣政權の潰減と建設工作とは くも政治經濟の建設開發はその緒に就くに至つた。 くの再建性が、帝國の手によつて明らかにされ、早 のベールは白日下におかれ、新時代の民族國家とし

・支那事態質極の目的もまた比別

東亜協同體の再建とは、皇道に支那民族を融合せし更らに急ビッチをもつて推し進めらるべきである。

族たらしむる、即ち日本民族の道徳觀世界

說社

興
正
記
念
日

ベールは白日下におかれ、新時代の民而して事趣は今や第三段階に入り、神(族にしてよくなし得るところである。)ては世界新秩序再建の端緒を拓いた。

建設的興隆

衷心から哀悼威謝の祈りを捧げる。全國民はこの を興亞記念日となし、數々の國家的行事を行ひ、

る総親和の結晶である。粛洲事績家総力發弾の實を舉げんとする。

眞に帝

る。こゝにこの記念日を期し、吾人は、民族的哲學觀に一元化するが、基礎契件であり窮極の目的で

て帝國 國のみに

\* 我等型層层民は 忍苦報練力を養ひ 以て是道を管理 、我等皇國民民は「日に信愛協力し、以て際紀を聞くせ、我等は皇國民民なり、多誠以て君國に報せん 皇國臣民の誓詞

# けふぞ迎ふ感激の日 奮起せよ、半島全民衆

像大なる大轉換をなすべき世界史的記念日である、世で言っと言っとして、歴史は東よりの光の下に新しく事變紀念日は正に興亞記念日に止揚せられたものであり、萬大陸四千年の歴史は東よりの光の下に新しち今日のある、春秋二巡にして、既に戦は新秩序建設の段階にあり、鴻業成就の大道既に通じて近い、すなはち今日のある、春秋二巡にして、既に戦は新秩序建設の段階にあり、漢末成就の大道既に通じて近い、すなはち今日のある、春秋二巡にして、既に戦は新秩序建設の段階にあり、消光しる異く、一位陸長の風側更に新なるものが 金鐡の意力が要望せられるのである、よつて南總督、中村朝鮮軍司令官、深澤部隊長はこの日を期しそ模の雄大正に人類史を絶するものであり、これが興亡も即ちこの一戦にある、今日こそ皇國臣民大死一天なる大轉換をなすべき世界史的記念日である、更に言へば現下の興亞建設戦こそ、その意義の深遠その てれ左の如き談話を發表、皇國興隆への國民的皆與の道を力強く說き、愛國生品。

更に金鐵の意力要望

興亞維新達成に 礎石を寄興せ 朝鮮總督

民の責務重大 層の決意で要 【東京市画】支那事態は本日を以 版 ま質において一地方政職に断する 地域に関し 心理に関し、徳日密地の再政権に対し、地田密地の再政権は対し、大なる地域に続け来が方の点地、

が半島に於ける服時態勢を過去一続くる<br />
極大く理学試測を以て後季

| 以て支那部部|| | 関手の記録目を部|| 原を指し、支那平穏の目観はいよ
| 製や日本関戦は今日動散の整觀を | あり。 距離の間目の開発相聴る質

さらに単独の明空を戦響し不謀隊 世界古の英語に開始のゆを指示。 ここの野土の英語に開始のゆを指示。 ここの

湖を促し、以て非確常振の目的。
関し今や衝子としてその反省目。
での形勢に際し、現水帝國は抗
アイメー

くれる複雑なる特徴を明かにし

一心、互に相同じきもの

で今や近代文型文化の中心たる版「数のもと監事なる監世野兵の監鑑」の歌のたる堂大なの歌歌は世界殿 日政権の政立院総を見るに至りまの歌のたる堂大なの歌歌は世界殿 日政権の政立院総を見るに至りまた、แふるに一昨年本月本日盧廣「新賀において一地方政権に呼するた、แふるに一昨年本月本日盧廣「新賀において一地方政権に呼する

周年を辿へること」なりまし

■多数 の変施者能に ・ の変数となられた

三千三百萬富茂業和と共に必聊すりなる礎石を審異せんことを副内 | 別認による断門群新の達成に有

今次事 問い時代

の整備を開いる場合を表現の表現に対したるの数を開いる場合を表現していません。 能みて独現なる欧明の語を描ぐる

」、英語は我が新東亜の建設を防 に配職は東洋赤化の概手を処庁 始末です、従って時 部場に那世するの一念あるのみで て挑燗なる策勝を扱けてをります

國

地を建

既において支那軍の不法則 「特となり即職に一位く支那民衆に對二年七月七月及年北京衛行」所政権と戦ひつよる一方版争の憲

皇軍の勞苦を偲び 愈よ銃後を固めよ

べきことを聞く信ずるものであり

り顕

题 大阪情話 澤桓夫大傑作

振興、阿深郷動員の

長

であたっつ思い

一階の居候

新家庭婦夫婦職







全順民一覧とたり がない。



ー ハガキー校でスグ送本します。 其他振替、 の上僅かに金壹圓均一で 宗仕す ・堂々たる巨册! 絢爛たる。 豪華 総努力に應く。二圓も三圓もす

新聞社特賣部宛、大至急御註文を願上げます。ですが、送料御加算の上、必ず直接に東京市神 次定版 150 次定版 150

一年 中国場所と、出席が出版。 一年 中国場所と、一部は前むべき名作
全部 (数)、日本の大三郎 (数)、日本の大三郎 (数)、日本の大三郎 (数)、日本の大三郎 (数)、日本の大三郎 (数)、日本の大三郎 (数)、日本の大三郎 (数)、日本の一部の大三郎 (数)、日本の一部の大三郎 (数)、日本の一部の大三郎 (数)、日本の一部の大三郎 (数)、日本の一部の大三郎 (数)、日本の大三郎 (如)、日本の大三郎 (如)、日本の大三郎の大三郎 (如)、日本の大三郎 (如)、日本の大三郎の大三郎 (如)、日本の大三郎 (如)、日本の大三郎 (如)、日本の大三郎 (如)、日本の大三郎 (如 の

偉い人の話

き

最新機械製圖法

図元十段20科十四級 大ける人の絶対的産布 大ける人の絶対的産布

〇周六判五百百時期・定復二四・89科十四日) 高年 方・沿 唐宗・法 高年 方・沿 唐宗・法

時代小說評判記 ·讀書新聞社特賣部 ·讀書新聞社特賣部



、味噌汁(わから)、味噌汁(わから)

で私は事地以来解説したとが二てお売しうございます。ところでおいます。ところ は朝鮮の若い男女がぶらくし嘘ー おります。町が扱いても、

は一個何点 ごうたのでござい ませうか、なさればならぬ仕事

二重二間 私図

でとゝに是非申上げたいのは朝しとがわかつて書りました。それ

を開展させ形だいらうというに 夏の恋様が通じ合へば、もつとました、時間に選する部級もお つたりしないとい きことを駆じ 類が 通じねばやばりどうも び 人們その他いろくな自合に言 もつと学島の方々にも時間認識 次には背の言葉の問題 も全く此の場でございませう。

を選し得まするとと保じます を選し得まするとと保じます りますものが日日の生活に於て これらの

の後よりすりがをまぶして(所の ま))油で増げ、次の煮汁をかけ で頂く の機関・上に加くを の機関・上に加くを の機の上に加くを の機の上に加くを の機の上に加くを の機の上に加くを ので、ため、いんげんを ので、ため、はしていた。 を好しふりかけておく、しばらく

大のと、 がのと、 ののの が、 がのか、 できな、 これは でんのの これは、 でんのの これが、 でんのの にんので、 のんので、 のんで、 のん 心を一入慰め、故郷を偲ぶよすが

どうか「野の野美人な

製日

法英

米

関明書選呈 發資元

を出合資電社

東京市日本橋原本町三ノー



出来るだけ簡節なもに動へる力を養主意用の質害を思り困苦

献立の趣旨

Â,

一、青物

代

今日は

京城第二高安 翁 長

胚芽米御飯に 鰺の五目煮

> 大学が上野魔獣のお躍りは朝の中人がち下す 影の五目激 はお無路に入れる、荷物を添へるに作っておいて、単校に出るかへ (概干は戦地の貨田品散使用せれ

間は二枚に却して切身として陸四

まひなど、見たどけでも思くな 心頭部すれば火も疾病し

で、心臓へをきちんとして込れ

おまけにバラソルはお鍵の間に

三國五十段。 貫密 十本人 三庭。 知密 十本人 三庭。

格

▼一日一本或は二本使用のこと

惡性か、或は聲年にわたる趙疾機 用されたし。 に関管を使用し、灰ぎに中醫を使

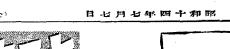
住在の患者には短管。中層の次ぎ

た投管を使用されたし。

優住、或は再頭の思者には、最初 総込草々の思者には、短いを使用

ところが田舎の際家かです、これを助った日間さんはそしんなのは極り物です。 つてドさい…… ぐと書いてあるの





先づ國語の普及 互に手をとり國策へ 田中僧太郎氏夫人 田總 質 府 通 梁 官

るのですけれど、郊方話でまで です、私も助くだけは即原出来 です、私も助くだけは即原出来 いって朝奴跡で重じるといっと いっと

完成に御邸力申し上げたいと記して此の度の歌物に依りまして此の度の歌物となっまればとれ等の家庭報图 一緒後の歌りは大坂夫でこざいま

書ら歴使ってこすっちゃならぬ

競売を主めにする 一 花巌湖ひかお塚をとれば、いってがら、ネクタイ、羽紋の舐も れがとれたさや気がもめる

獨自の殺菌力

撲滅しがたく、一時的には輕快したる如く

この潜在淋菌は、 内服薬にては徹底的に

見ゆるも、分泌物、淋絲は依然として消失

一字、從つて淋疾の根本的全治は容易なら

法人登

る家内は垢だらけ

を申上げませう。 をまぜたものを置 れを向べて死にまないなめくちゃる 木灰久は木灰に夕 をあぶり墓の道路 徹の僕と奇蛇の院 に置いておくところに 御戦をませたもの

塩をゆるめてヤナーと したいほんでは地形がいたむ

けるこの職の人様ス・フは真物 布で扱んで落いてとるをゆるめてやすくしと

○ おいっこればつやがのく

しやほん使うたちゆすぎが大事 れば挪躍曲でしめし、

洗ひとかはらない

とてがぬるけりや小筋がのびぬ

いてからでは上光る ひのしする品配よくしめせ、「ち もんで流へば市地がいたむ、西

油虫と

もの、夏は砂糖に 糖に頭砂をまざた

洗濯いろは歌 ウとく変れは歌い水

をまぜたものを図

関形に選出してゆきたいと思ひ地に手を組んてむを一つにして

てお互の難しみは薄くものですり招聘けて酷し合ふことによっ には上躍してゐません、しんみ

もし、難屈数したいものでござっなく、私達を開始語をもつと 館の方に関語をするめるほかり 精神絶動員は

であります、最近隣民精神総動祭庁外の緊張中を必要とするの 制制にも標準的にも保保機能成の織力職となりますの が長期に成ればなりま 家庭報國の實践から

コンパクトは い投票には 中心是不知识

員の題動が悩んに解ばれますの

やぬませう。「コンパクトけるが、これだけは絶対に 観を浴つてゐる女性を見かばをつくつて大つびらに日 使用は人目につかねこと 野茶版などで、 筋マトボー を原則に夏期は特に気をつ 搾へ目に

☆性女の夏 暑さうな腰掛け方

は、婦人の身だしなみも離れが **た肴物、さも思さうな立思ふる** ちになるものです。着膨れのし 人中で扇子を使ふ時など

淋疾適應

有術がし、一本にて野時間にわた。 説の動物なら部分におで事等の分。 流用することなく、却つて最小術・ 流用することなく、却つて最小術・ 管及び評部に潜入しつ 1 ある慢性感染になの消菌は勿論、精験に側の関係性をの消菌は勿論、精験に側のり、殺菌と深邃の兩作用をつまけ 極病院を始め多数の泌尿科専門醫 **消失し、短期療法に奏数し、再發淋菌まで殺菌し、分泌物、淋緯を** と防止するのである。 とゝにウラルゴール獨特の效力

うないのは

氯

|日都五潜解し、内容は粉末なるが| |この管を尿道内へ入れると、管 棚を貸中に入れてある。 一本にて數時間

とうなの修理球は

**排削に関し、穀費力助る働き新** 

ある。しかして此の将末は極めて悪難とを仕期的に勅合した将来で悪難とを仕期的に勅合した将来で研究の無職と、粘腹深遠種類を色

の内容は内閣等、推政職等とは全

**創製されたるものにて、從つてそにこの潜布掛款を摂越するために、ウラルゴールとは、食** 

が出っている。

盛襲天安出張所

1年19頭為化事

る方が で マッダ會員の店」 になつて御迷惑をなさ この頃修理球をお **"** 卒 購 め願ひます おありの様で 買 す ッツダを見の店にはこの有性が限于てかります 夏季には 凉しい明りマツダ遊光電球・マツダツウライトランプを! 内服薬にあらざる 慢性

新日本女性美歌集

おそろろわれら

紅頰

**準備せる最新治療剤** 製<mark>痛、止血、萎縮治癒作用を</mark>

注 軟 坐射 朝 齊 築

. ★☆☆# 塩見製酶所

の人にせひり

てはありません

犬、時に害あり

立候補既に廿二名

カハッ

、世の親へ警告

葦

圍宛

百圓

百

名

大館以内とする場にして誰にも がのものに思る

十四年九月初旬中四年九月初旬日十四年九月初旬日十つこと。 本雄解質調経は 第三十一日

存金が大日本製館株式舎社 東京 大阪道の町三

談社

後援

京日案内

症

熱願

天下

P

男子呼ばれた。人間は

を加へ、「戦みから数」を加へ、「戦みを変えし、本社を記念し、本社を記念し、本社を記念し、本社を記念し、本社を記念し、本社を記念し、本社を記念し、本社を記念し、「戦争」を表示し、「戦争」を表示している。

と會 女給 前債、組織の有無を 女給 前債、組織の有無を 

出します。られぬ傑作りかに熱唱

ことを熟练しま

五百圓

+

特別案內

女子事務員募集 金山日淑文社 大子事務員募集 11 教文社 11 教文社 12 日本 12 日

**會價模批企歷码** 石川區等**羽町** 感·佐藤敬之助 湖·西佐八十

投いたします

京 城 支 店 ・ 変 南 事 売 合 本 ・ 変 南 事 売 合 本 ・ 変 南 事 売 合 本 ・ 変 南 事 売 合 本 ・ 変 南 事 売 合 本 ・ 変 南 事 売 合 本 ・ 変 南 事 売 合 本 ・ 変 南 事 売 合 本 ・ 変 南 事 売 合 本 ・ 変 南 事 売 合 本 ・ 変 南 事 売 合 本 ・ で 変 南 事 売 合 本 ・ で 変 南 事 売 合 本 ・ で 変 南 事 売 合 本 ・ で 変 南 事 売 合 本 ・ で 変 あ す か と 「 要 も ・ で 変 あ す か と 「 要 も ・ で 変 あ す か と 「 要 も ・ で 変 あ す か と 「 要 も ・ で 変 あ す か と 「 要 も ・ で 変 あ す か と 「 要 も ・ で 変 あ す か と 「 要 も ・ で 変 あ す か と 「 要 も ・ で 変 あ す か と 「 要 も ・ で 変 あ す か と 「 要 も ・ で 変 あ す か と 「 要 も ・ で 変 あ す か と 「 要 も ・ で 変 か と 「 要 も 。

家政婦一名

高級家庭同等経営成立り関す政位高級家庭同等経営の部方は左領へ衛階であり

**限密本局四一九五智** 

初夏のひざし

觀 覽

料

催

七月九日(日)午前九時

西鲜代表、颐境代表、中央及各地推薦 京城運動場庭球場

虰

國防 六丽



· 茶 (神·油) 赤系 (婦人间) ¥ 6.50 & 5



断然之に限る

いんきん、かゆがり水虫、たむし、ひぜん

ライオン統プド

**崑七千八百**號

间

昭和拾四年四月貳拾五日和京権(田明衛了ノ原月旅出合(見渡)馬事摂嫌 和拾四年四月戒拾七日勢東線(任明満了ノ邊再選) 田台(受更) 監導朴皮邊四年五月或日登記 助、 腹膜炎特殊注射劑 醫學博士展田央介先生創製

1・紹子 三つ進行を抑制し、自然治療を促進す 2・赤田子の遠速度を速か**に正**なに退せしむ 3 ●新科 。複能を旺盛ならしめ、抵抗力を襲め、心身を し、食薬を増進し、安眠を得 庆节.

4・暗景量を置かし、原像を個人、整年間止に特別あり 5・汽工器、整色器を去り解除網別作用を有す

用版 毎日或土曜日一回二〇00分明報内注册 包度 二〇00 一〇管 三〇管 五〇管 植村製藥所 京城新館町



著名要店にて販費す 鳥植 大阪中野田村製築に

羽町店町所

表 代 境 國 仁國弧過·使呂 崔

◆最近の 朝鮮 文學 ・ 見透しに就て ◇支那事變滿二ケ 政界夜話

事

釋尾東

將官

大田

川冥 谷島

◇鉾展工菱に對する破想… ◇第十八回鮮展 寮昌記…… ◇朝鮮の 厳明界に對する希望

南川

誸 邈 殺菌力の凄さい

門しい別力の速さは

カンコな皮膚病も、流石に

たまらぬ程序くて痛い、中二年、三年越の永いくい

稿献室より

與主人或者 人登記公告 人登記公告 人登記公告 人登記公告 大學記述 東京 (電影) 世際行動 大學記述 東京 (電影) 世際行動 東京 (電影) 世界行動 東京 (電影) 世界 

**於無法城支廳** 

め いの疲労を 野し、血液を 増し、血液を があき食

**慶春川支廳** 單五點

是有一个的。 是一个的。 是一个。 

田村牛人雄生生

本発言に公小口に大きない。

化强体弱

進增力精

太子殿下

マを奉呈

几千三百六十

第十二回陸軍論功行賞

家揃

入場無料

京日事變ニュ

ス

數卷上映





保、夜和爱、舞鶴出 一种,我们是一种,我们是一种

語線順天 支廳





京城出張所定城出張所





興耳記念日大講演會 篠 田 治 策氏 喜多森三少佐

興田の聖業と國民の豊田

聖

戰

正駆蟲 

今松市 自有物類

アタマへ オヨイデル ノセテ

ラリコ

だくあん石もカルトしとお答所のサービスは では、日本語がカルパス

聖域の峰、暁

の默禱に

のけゆく興亞の大空

勇壯多彩・街頭に建設行進譜

今<u>夕</u>六時卅分開

會

場會

京城府民館

精動京城聯盟

けるの誓の一酒を飲まず、煙草を喫はず

カルピズ状で対象で お最所の年

本の大学の大学の方は、大学の大学の方は、中心をなった。

今日の行車

